シリーズ 「グローバル・ジャスティス」第53回

歴史に問われる 〈わたしたち〉

Professor Jordan Sand

ジョージタウン大学歴史学部教授





2015年5月5日、米国における日本研究者187人が連名で「日本の歴史家を支持する声明」を公表し、「国家主義は史実を曲げる」として、アジアにおける第二次世界大戦に対する正確で公正な歴史を探求する大切さを日本に向けて訴えかけました。日本でも、多くのメディアで声明文全文も含め紹介されました。声明文は日本だけではなく、中国と韓国を含め、「すべての国の政府」に歴史研究の自由を呼びかけています。

そこで、歴史認識をめぐる今回の声明の背景となった懸念とはどのようなものだったのか、日本社会にむけてどのようなメッセージを投げかけようとしたのか、また、アメリカ社会における現在の日本社会に対する理解についてなど、共同呼びかけ人の一人だったサンド教授に声明の意味についてお話をお伺いしたいと思います。

日時: 7月20日(月)

18:30-20:00

入場無料 申込不要

会場: 志高館 SK119教室

同志社大学グローバル・スタディーズ研究科

Tel.075-251-3930 / E-mail: ji-gs@mail.doshisha.ac.jp